

米国における豚インフルエンザ（H1N1亜型）の状況等

CDCは、カリフォルニア州（サンディエゴ、インペリアル）とテキサス州（サンアントニオ）の二つの州において、豚インフルエンザウイルス（H1N1亜型）の人への感染例について、継続的な調査の実施に基づき、最新情報を更新、掲載している。

○ 現在の感染症例（平成21年4月24日現在）

豚インフルエンザの人への感染例	
州	確定症例数
カリフォルニア	6
テキサス	2

※ 毎日、米国時間午後3時（日本時間午前4時）に更新

○ カリフォルニア、テキサス住民に対し、今現在は豚インフルエンザウイルスに対応するワクチンがないため、感染防止対策を実施することが重要であり、以下について推奨・警告している。

- ・ 咳やくしゃみをする際はティッシュで鼻と口を覆うこと。使ったティッシュはゴミ箱へ捨てること。
- ・ 頻繁に石鹸水を使って手洗いをする、特に咳やくしゃみのあとは徹底すること。アルコール製剤は効果的である。
- ・ 健康状態の悪い者との濃厚接触を避けること。
- ・ もし具合が悪くなったら、仕事や学校を休み、外出をひかえること、他の者との接触を避けること。
- ・ 目、鼻、口に触らないこと。
- ・ 呼吸器症状（咳、鼻水等）や、身体の痛み、吐き気、嘔吐や下痢など、健康状態が悪くなった場合は、かかりつけ医に連絡すること。かかりつけ医がインフルエンザ検査をするかどうか決める。

○ また、CDCは関係者に対し、以下のように呼び掛けている。

- ・ 臨床医は、熱性呼吸器症状のある患者で、カリフォルニア州（サンディエゴ、インペリアル）や、テキサス州（サンアントニオ）に住む者、その地域に旅行した者、発症までの7日以内に、これらの地域の健康状態の悪い者に接触した者は、同インフルエンザの可能性を考慮すること。
- ・ 州立公衆衛生検査機関は、全ての亜型を決定できないインフルエンザAの検体を、迅速にCDCに送ること。
- ・ 公衆衛生動物衛生技官は、豚インフルエンザウイルスの感染源、発生状況とタイムリーな対策の必要性を決定するための患者と接触者の調査を実施すること。

（出典：CDCホームページ <http://www.cdc.gov/flu/swine/investigation.htm>）